

がん対策と地域医療対策

2015年2月13日

沖縄県がん診療連携協議会委員

埴岡 健一

がん対策と地域医療対策

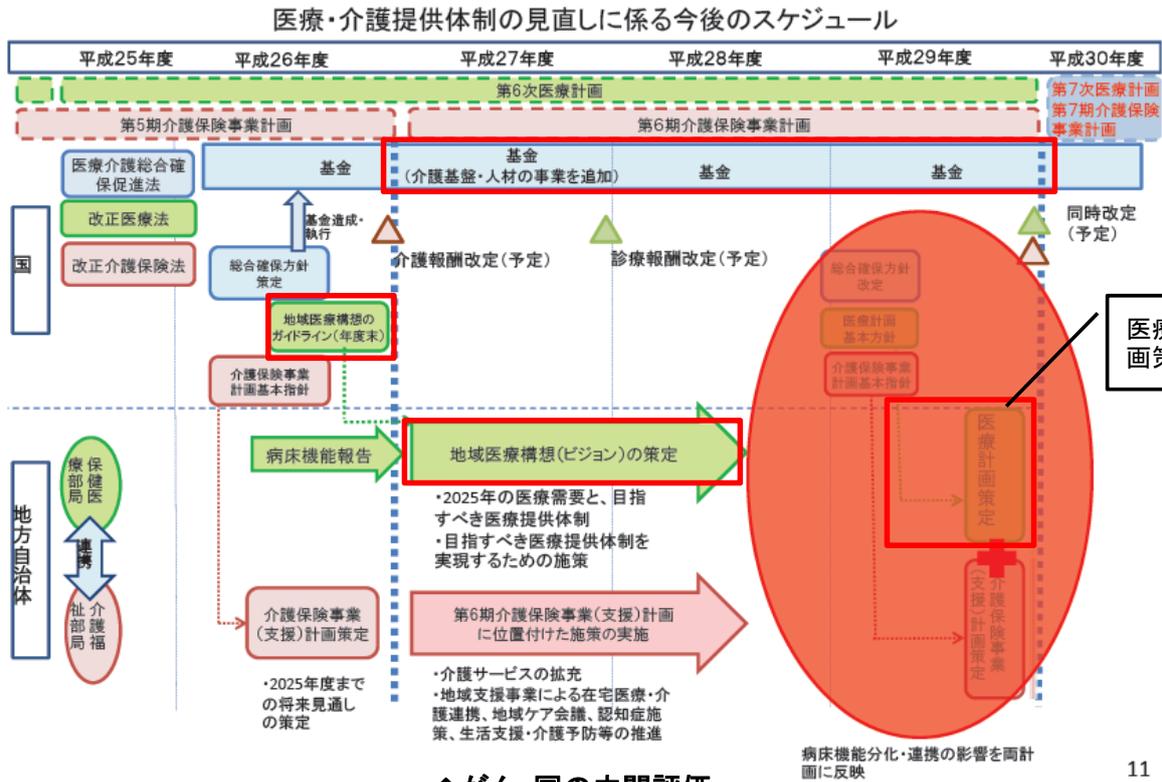
がん対策

- がん対策基本法
- がん対策推進協議会
- 県がん対策推進協議会
- 県がん診療連携協議会
- がん対策予算
- 国計画の中間評価
- 県計画の中間評価へ
- 次期計画へ



地域医療対策

- 税・社会保障の一体改革
- 社会保障制度改革国民会議報告書
- 医療法改正
- 病床機能報告制度
- 地域医療構想(ビジョン)
(医療計画の一部)
- 地域医療構想調整会議
- 医療介護総合確保基金
- 次期地域医療計画へ



出典: 地域医療構想策定ガイドライン等に関する検討会資料(一部、改変)

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000058286.pdf>



公開
頭撮り可

(照会先)
医政局地域医療計画課医師確認
担当 西山・浜野(内線2661)
(直通電話) 03-3595-2194

第8回地域医療構想策定ガイドライン等に関する検討会

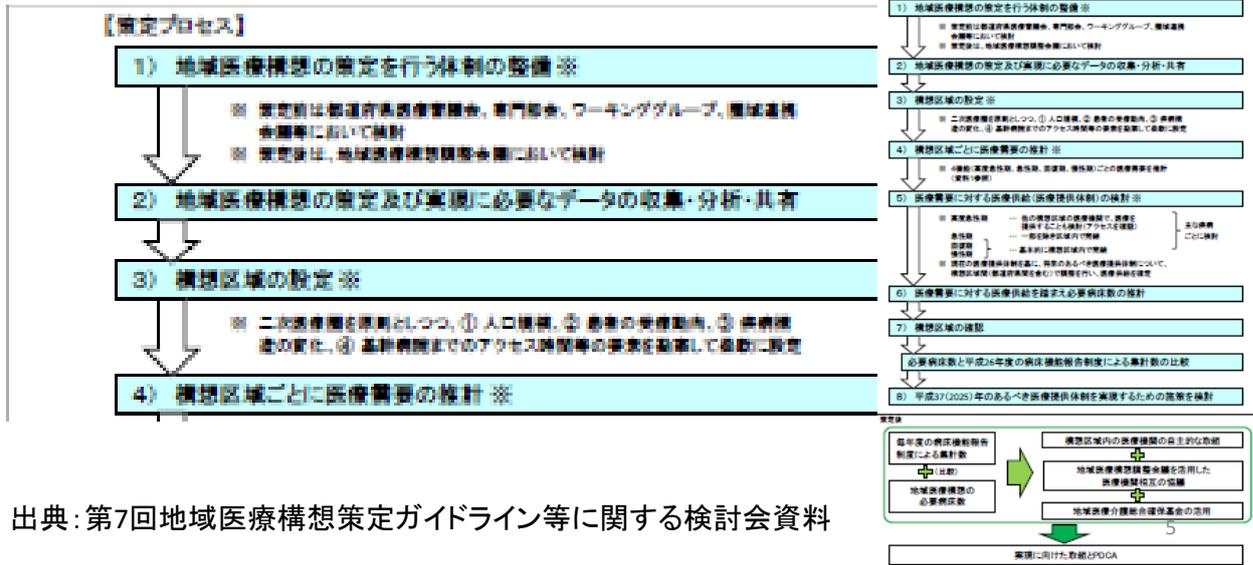
標記について、下記のとおり開催いたしますのでお知らせいたします。傍聴を希望される方は、下記4の募集要領によりお申し込みください

記

1. 日時 平成27年2月12日(木) 17:00~19:00
2. 場所 中央合同省舎5号館 厚生労働省専用第22会議室(18階)
東京都千代田区霞が関1-2-2
3. 議題
 - (予定)
 - 2025年の医療需要と各医療機能の必要量の推計方法について
 - 病床機能報告制度において報告される情報の公表のあり方等について
 - 地域医療構想策定ガイドライン等に関する検討会報告書(案)について
 - その他

地域医療構想の策定における医療需要に対応する医療供給
(医療提供体制)の確定方法及び策定後の実現に向けた取組について(案)

1. これまでの検討会でのご議論を踏まえた地域医療構想の策定プロセス
 ○ 本検討会では、これまで、地域医療構想の策定についてご議論いただいていたところであるが、策定プロセスについて整理すると、以下となる。



出典:第7回地域医療構想策定ガイドライン等に関する検討会資料

地域医療計画実践コミュニティ ガイドライン

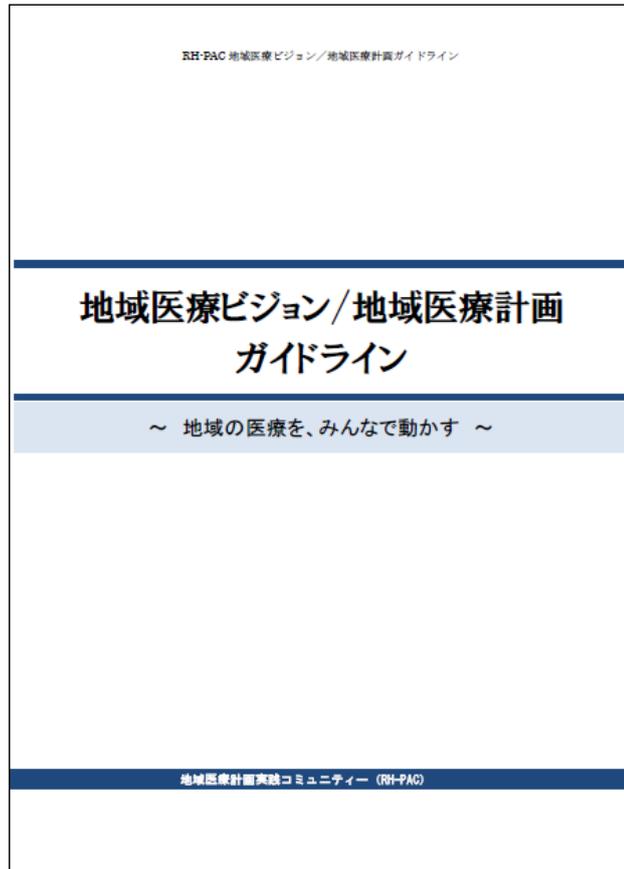
○地域医療計画実践コミュニティ(RH-PAC)

○東大公共政策大学院医療政策教育・研究ユニットが実施する医療政策実践コミュニティ(H-PAC)の修了生らによる協働作業

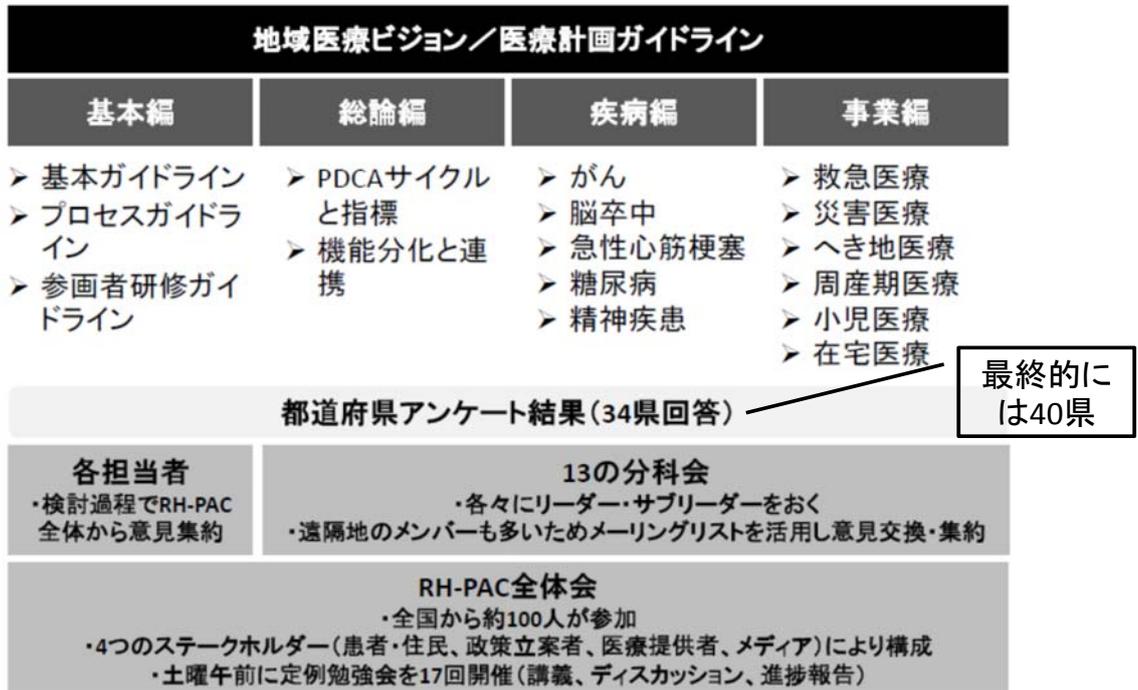
○患者・住民／政策立案者／医療提供者／メディアの4つの立場の約100人

○2014年12月に完成

○47都道府県、全国保健所、全市町村に配布



■ RH-PACガイドラインの策定体制と成果物



出典: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/HPU/seminar/2014-10-12/d/12_2_1.pdf

7

■ガイドラインや計画

●2012年3月
厚労省医政局長通知
厚労省課長通知

■カバー範囲のイメージ図



■特色／ポイント

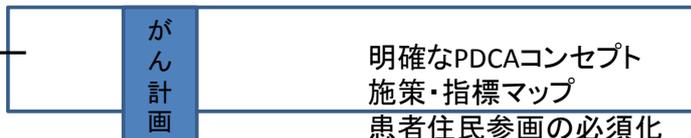
PDCAの基本コンセプト
SPO指標
患者住民参加のプロセス

●2013年
都道府県
地域医療計画



誤解されたPDCA
少ないPO指標
形式的な患者住民参加

●2014年12月
地域医療計画実践コミュニティ
ガイドライン



明確なPDCAコンセプト
施策・指標マップ
患者住民参画の必須化

●2015年2月厚労省
地域医療構想策定
ガイドライン



地域医療計画の一部
将来需要に応じた病床転換
協議の場／調整会議

●2015年4月～
47都道府県
地域医療構想策定



地域の将来需要に応じた調整
地域医療計画のPDCAと策定プロセス

●2017年度
47都道府県
次期医療計画策定



明確なPDCAコンセプト
施策・指標マップ
患者・住民の十分な参画

各種のガイドラインや計画の関係性イメージ

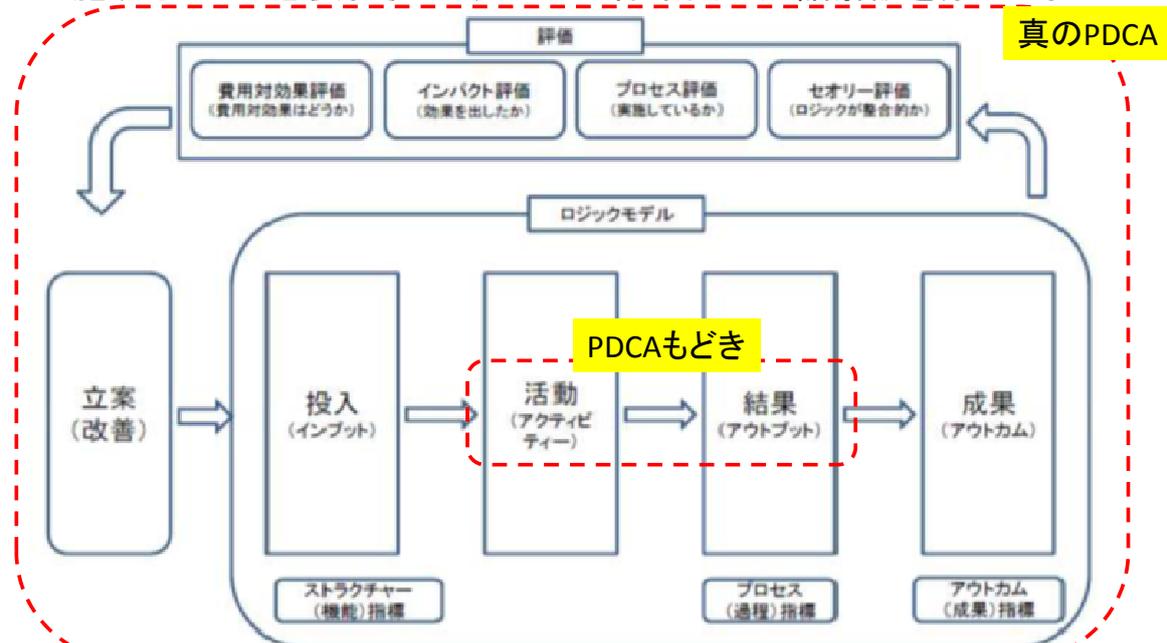
8

- S-1 策定の体制の整備
- S-2 基本方針の策定
- S-3 既存施策の策定
- S-4 データの収集と分析
- S-5 医療提供者の意見の聴取
- S-6 住民等の意見の聴取
- S-7 施策の作成
- S-8 評価指標の作成
- S-9 審議会等での検討
- S-10 計画のとりまとめ

出典: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/HPU/seminar/2014-10-12/d/12_2_3.pdf

9

・「PDCAと指標」は敷居が高く、一定の研修を、すべての立場に実施することが必要。そこで、PDCAの体系図／用語解説を添えた。



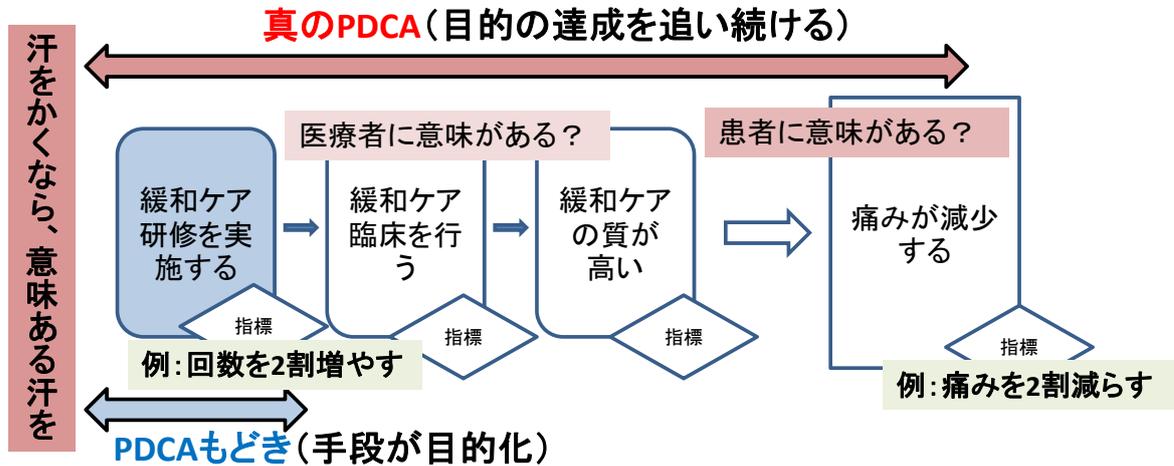
出典: 市民医療協議会、『患者アドボカシーカレッジ 第3章 政策立案と評価のときに』(一部改変)

出典: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/HPU/seminar/2014-10-12/d/12_3_A.pdf

10

例1:緩和ケア分野

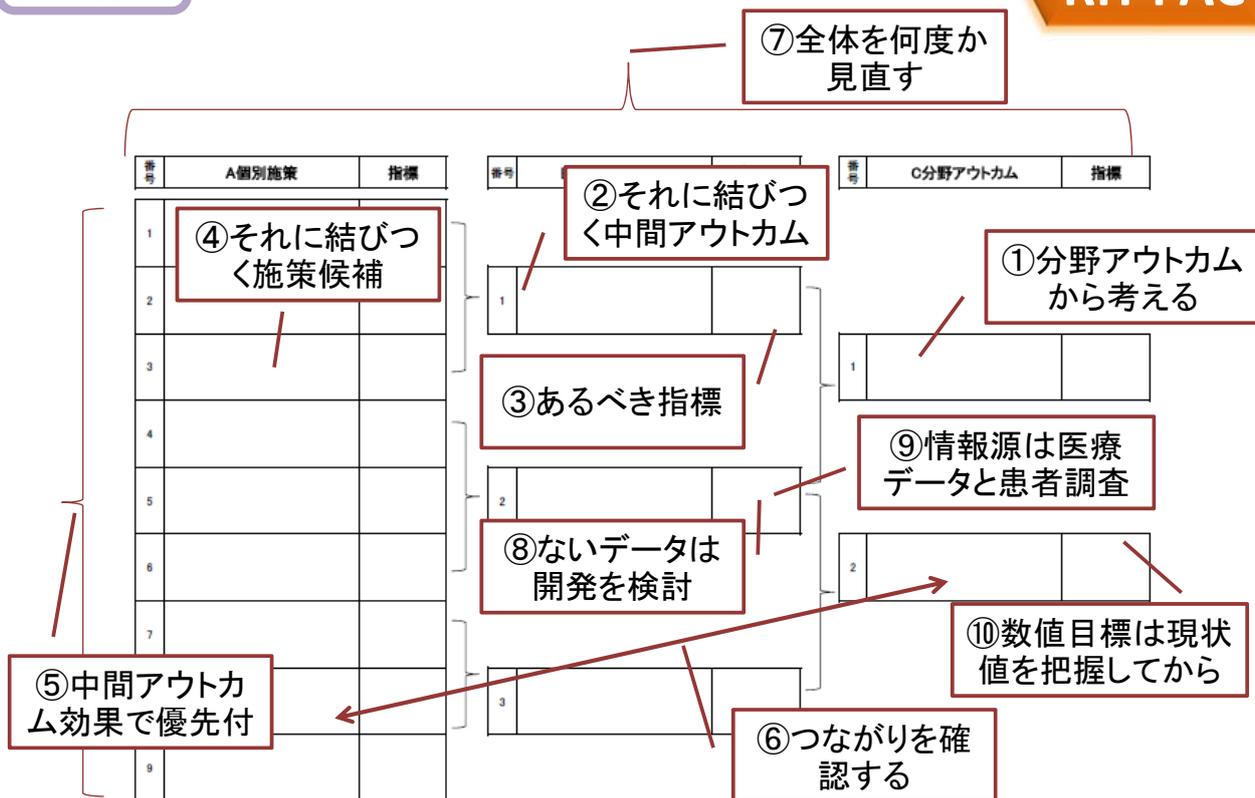
- ・緩和ケア研修は、患者の痛みを減少すること、緩和ケアの質が高いことにつながったか。
- ・効果があったらもっと頑張ろう。なかったら、もっと効果をもたらす施策がないか、考えよう。



- ・緩和ケア研修を10回開催する計画。結果は10回開催で達成した。
- ・好評だったし、来年はさらに目標を上げて12回開催したい。

出典: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/HPU/seminar/2014-10-12/d/12_3_A.pdf

マップ活用 10のポイント



出典: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/HPU/seminar/2014-10-12/d/12_3_A.pdf

施策・指標マップ (③がん医療)

番号	A個別施策	指標	番号	B中間アウトカム	指標	番号	C分野アウトカム	指標
1	放射線療法および化学療法、手術療法の推進	各種指導管理料、加算の取得割合						
2	クリティカルパス、レジメン管理などの普及に向けた施策	医療機関でのパス、レジメンの実施率	1	がんの治療成績が向上する	がんの生存率、合併症発生率など			
3	臨床試験・治験・先進医療の推進	臨床試験・治験・先進医療の実施状況						
4	科学的根拠に基づく標準治療の実施の推進	標準治療の実施割合、治療実績						
5	がんセンターやチームによる多職種での診療方針検討の推進	がんセンターの開催・活動状況、多職種連携実績	2	標準治療が普及し安全に実施される	標準治療の実施率、診療ガイドラインの実施率など	1	安心して安全な質の高い医療が提供できる	生存率、患者満足度調査
6	インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなどの推進	インフォームドコンセントの実施状況、患者満足度						
7	専門職種の人材育成と教育研修の推進	専門医、専門看護師、認定薬剤師などの配置実績						
8	心のケア、医科歯科連携、緩和ケア、小児、在宅などチーム医療推進	チーム医療の活動実績	3	がん診療を担う専門職種が養成されチームでの診療を実践している	専門職種の養成数、従事する数、チームの活動実績			
9	在宅医療および連携の推進	紹介／逆紹介率、在宅移行率、地域連携パス導入率						

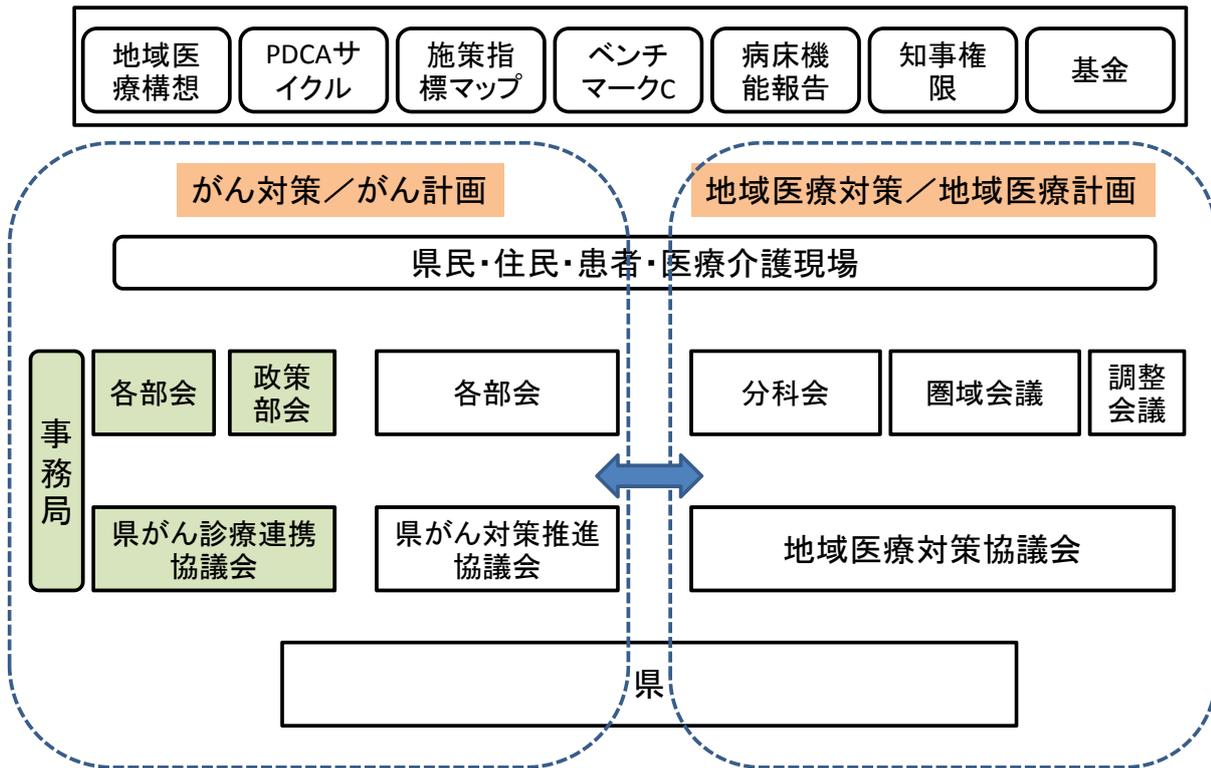
出典: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/HPU/seminar/2014-10-12/d/13_4_01.pdf

施策・指標マップ (④緩和ケア)

番号	A個別施策	指標	番号	B中間アウトカム	指標	番号	C分野アウトカム	指標
1	がん診療に携わる全ての医療従事者が緩和ケアの知識と技能の習得	研修受講修了者数、除痛率、医療用麻薬消費量など						
2	住民・社会に向けた緩和ケアに関する正しい理解の促進	緩和ケア、医療用麻薬、看取りに関する理解	1	緩和ケアに関する正しい知識が普及する	緩和ケアの認知度、患者調査、住民意識調査			
3	緩和ケアを専門とする職種の育成と人材確保の取り組み	緩和ケアの専門技能を取得した各職種の人数、体制						
4	治療の初期段階からの緩和ケアを提供する緩和ケアチーム設置推進	緩和ケアチームの設置状況、活動状況調査						
5	緩和ケア実施施設における緩和ケアの充実	緩和ケア病棟・外来、緩和ケアチームの設置・活動状況	2	がんと診断された時期から緩和ケアを受けられる体制が構築される	緩和ケアチーム、緩和ケア提供体制調査	1	がんと診断された時期から全てのがん患者が緩和ケアを受けられる	緩和ケアに関する満足度
6	在宅医療、在宅緩和ケアの推進	在宅緩和ケアへの移行、緩和ケアの連携(紹介率など)						
7	地域の緩和ケアに関する情報提供と相談支援の充実	緩和ケアに関する情報の整備状況、活用状況						
8	グリーフケアの充実	グリーフケアに関する満足度	3	地域における緩和ケアの提供体制や連携が充実する	在宅死亡率			

出典: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/HPU/seminar/2014-10-12/d/13_4_01.pdf

がん対策と地域医療計画の相乗効果を



15

まとめ

- がん対策から地域医療対策への貢献
- 地域医療対策からがん対策への貢献
- 2025年がん医療介護最適体制とのギャップは？
(医療資源の確保と再配置)
- プロセス指標とアウトカム指標を活用したアウトカム評価によるPDCAサイクルの確立
- 当連携協議会の地域医療構想、次期医療計画がん部分、次期がん計画への貢献
- 今後のカレンダーを意識した協議会活動
- 環境を踏まえた県がん計画の中間評価

16